



## 学院逝去者記念礼拝

チャプレン トマス 河村博之

「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。  
だが、死ねば多くの実を結ぶ。」 (ヨハネによる福音書 12:24)

毎年11月になると「八代学院逝去者記念礼拝」が垂水の学院チャペルで行われます。前年の10月1日から当年の9月30日に逝去された理事・監事・教職員・学生、またその家族の名前を憶えて献げられます。今年は10月31日(月)の夕方に行われました。例年、礼拝後に別棟で茶話会が行われ故人を偲ぶ貴重なひと時を持ちますが、ここ数年はコロナの影響により行われておりません。

この行事は1971年11月に創設者ミカエル八代斌助師父の逝去1周年を記念して行われたことに由来します。これまで50年余りにわたって100名以上の方々を憶えてきました。1999年10月にはチャペル内に逝去者記念板が取り付けられ、1枚1枚掲げられた銘板により、逝去者との関わりを知ることができます。

とはいえ、六甲アイランドから垂水までは遠い、また仕事や授業で行けないという皆さんのために、その前後の昼の礼拝で「逝去者記念礼拝」として逝去された方のお名前を読み上げ祈念しています。

わずかな時間ですが、これまで共に過ごされてきた家族、友人、知人、同僚に対する敬意と永遠の安息を憶えるよい機会と考えて献げられます。

今年は11月1日(火曜日・諸聖徒日)です。皆様のお越しをお待ちしています。



### 一口メモ

故人を偲ぶことは年を重ねるごとにより大きな財産となっていることに気づくでしょう。八代学院のためにこれまで多くの人々が働いてこられました。その蒔かれた種は実を結び、今に至っています。

これまでに先人たちから頂いたご恩に感謝し、大切に次の世代へ繋いでいきたいものです。(河村)



第1回記念礼拝の様子



垂水の学院チャペル (現在)